

特別展

立山カルデラと深層崩壊

観覧
無料



- 日時: 10月5日(土)～12月15日(日)
- 場所: 企画展示室

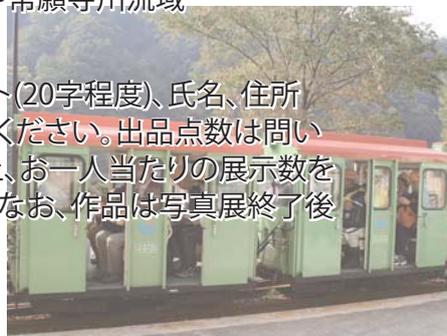
立山カルデラは大規模な火山活動に起因した陥没地形ではなく、火山堆積物の脆弱な山体が侵食によって失われた侵食地形であると考えられています。その形成の主要因は、温帯の山地において普遍的に発生しているような降雨・融雪に伴う小から中規模の崩壊や谷の下刻侵食というよりはむしろ、1858年の安政飛越地震によって発生した鳶崩れやそれ以前から繰り返されてきた「巨大深層崩壊」にあると考えられます。更にその素因は、後火山作用に伴う岩盤の変質劣化や、より古い熱水変質帯、そしてカルデラ内で発見された活断層(跡津川断層系湯川谷断層)の繰り返し活動によるためと推定されます。

本展ではその根拠とした、立山カルデラ内の崩壊地形およびその堆積物に関するこれまでの調査・研究成果などについて紹介します。

「レンズが見た立山カルデラ」作品募集のお知らせ

募集中

- 【内容】 立山カルデラ砂防体験学習会や常願寺川流域
- 【写真のサイズ】 四切、またはワイド四切
- 【応募の写真】 題名、撮影日、撮影場所、コメント(20字程度)、氏名、住所を明記の上、郵送またはご持参ください。出品点数は問いませんが展示スペースの都合上、お一人当たりの展示数を限らせて頂くことがございます。なお、作品は写真展終了後にご返却いたします。
- 【× 切】 平成26年3月5日(水)



博物館からのお知らせ

年末年始の休館日	12/28～1/5
館内燻蒸のための休館	12/24～12/27
開館時間	9:30～17:00(入館は16:30まで)